

援助会員養成講座のご案内

まつさかファミリーサポートセンターでは、『平成20年度 第1回援助会員養成講座』を行います。現在ファミリーサポートセンターの会員さんは500名を超え、一ヶ月の利用も200件近くになりました。近年、地域の間関係が希薄になる中、核家族化も進み子育てを助けてほしいご家庭が増えてきています。子育てを応援してみようと思われる方、ぜひ受講してください。

会場 嬉野保健センター 松阪市嬉野町1434番地（近鉄伊勢中川駅より徒歩20分）
 対象 松阪市内及び近隣市町村に在住する20歳以上の方
 受講料 無料
 テキスト代 2,000円

月日	時間	講座内容
7月3日(木)	9:00~9:30	保育サポーターとしてスタートするために
	9:30~12:30	子どもの世話と遊び
7月5日(土)	9:00~12:00	子どもの栄養と食生活
	12:00~12:30	援助活動体験談
7月10日(木)	9:30~12:30	子どもの事故と安全(幼児救急法)
	13:30~15:30	子どもの体の発達と病気
	15:30~16:00	登録説明

- 託児(1日1人500円 おやつ代込み)が必要な方は、事前にお申し込みください。
- 都合により内容等を変更する場合がありますので、ご了承ください。

アドバイザーから

ファミサポも開始から5年がたち、大きくなって援助の必要がなくなった『ファミリーサポートセンターの卒業生』も出始めました。また新しい依頼会員さんがつれてみえる赤ちゃんを見ると、子育てはつながっているんだなあ・・と感じます。

ファミリーサポートセンターも、子どもやお母さん、お父さんと一緒に育っていきたくと思います。

広場「ほっとスペース」の開催日が変わります。

松阪子どもNPOセンターの広場、『ほっとスペース』の開催日程が、月曜～木曜日に変わりました。子育ての息抜きや情報交換、中高生の寄り道の場所などとしてぜひお寄りください。

日時 月曜～木曜10:00～18:30
 (企画がある日の午前中は、お休みです。)
 場所 (特) 松阪子どもNPOセンター
 対象 未就学児親子・中学生以上

・まつさかファミリーサポートセンター・

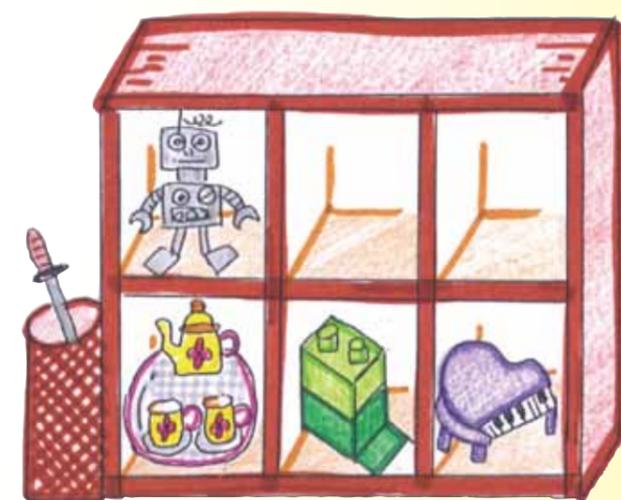
〒515-0043 松阪市下村町1115
 (特) 松阪子どもNPOセンター内
 TEL・FAX 0598-60-1820
 E-mail mfsc@mknpo.jp
 URL <http://www.mknpo.jp/mfsc/>
 (受付時間) 8:30～19:00
 (休日) 土・日・祝日・年末年始

2008年5月(第10号)

ファミサポ。ホットタイム

発行元 まつさかファミリーサポートセンター

あったところに
おがたごけ



車はもどして
次はロボットだ!!



まつさかファミリーサポートセンターは(特)松阪子どもNPOセンターが松阪市より委託を受けて運営しています。

～ 2007年度 実績報告 ～

2007年度もたくさんの方に、ファミリーサポートセンターをご利用いただきました。あいかわらず多かったのは、夕方の保育園や学校、学童保育へのお迎えと、その後保護者が帰って見えるまでのお預かりの2つで、ほぼ2/3になります。(①②)

⑦に集約される中で多いものは、保護者の急な外出や病気などで、保護者のリフレッシュなどに利用されることは、ほとんどありませんでした。



- ① 幼稚園・保育園の迎え・預かりなど。
- ② 学童の迎え・預かりなど。
- ③ 幼稚園・保育園の登園前の預かり。
- ④ 学童の登校前の預かり。
- ⑤ 塾などの習い事の付き添い。
- ⑥ 夏休みなどの長期休みの預かり。
- ⑦ 保護者の休養・他の子の学校行事など。

… 会員数 …

依頼会員	244名
援助会員	193名
両方会員	61名
合計	498名



援助活動やってま〜す!!



保育園の送迎の援助をさせていただいています。初めての時は泣かれましたが、今では私の声がすると玄関まで飛んで来てくれます。

「いってきます。」のバイバイをして、車で保育園へ。最近おしゃべりも上手になって、車中の太鼓を打つおもちゃを「ガーガー（動かしてよ）」と催促。あっという間に到着。園庭に入る前に遮断機が鳴って電車が通過すると「(行っ)た(行っ)た。」と、ニコニコ顔になり、私までハッピーな気分してくれます。



おばあちゃんのお見送りでいってきます!

親と子のしつけ教室



(特) 松阪子どもNPOセンターでは、子どもが自立・自律することを目的とした様々な活動を行っています。その中で幼児期の子どもとの関わりがその後の成長に大きく影響していくことを痛切に感じ、何かできることはないかと模索していた時に、子育てアドバイザーの西村喜久代先生との出会いがありました。先生の教室にお邪魔した際、子どもを一個人として向き合い、子どもの意思をよく聞き、タイミングの良い声かけをすることで、子どもの行動が変わってくるのを見た時、ぜひ松阪でも広げたいという思いから、『親と子のしつけ教室』はスタートしました。



これはどこに入れようかなあ・・・



先生の人形劇楽しいな!!

10月から3月まで計6回、1～3才親子15組に参加いただきました。1・3・5回目は西村先生、山中先生に親子遊びをしている際の声かけや対処の仕方をアドバイスいただき、2・4・6回目は、親は別室で話し合いをし、子どもは山中先生やスタッフと一緒に遊びました。



お母さんたちお話に夢中

★ 先生のアドバイスから ★

- ・おもちゃは遊び終わったら元に戻します。それを繰り返すことで『片付ける』という概念ができ、行動の区切りにもなります。
- ・他の子のおもちゃが欲しくなり横取りをしそうになった時、まずおもちゃを使っている子に「借りてもいい?」と聞き、「だめ。」と言ったら「今はだめなんだって、もう少し待とうね。」と両者に通訳をし、「貸してあげなさい。」とか「今あの子が使っているから待ってなさい。」とか子どもの先回りをして言わないようにします。

6ヶ月間通してしたこと、皆さんの表情もだんだんほぐれてきて様々な話が出ました。教室でアドバイスを受けたことを家でも実践されており、「声かけの仕方、兄弟げんかも両方が納得できるようになった。」とか「棚におもちゃを戻しています。」という声も聞かれました。その子に応じたタイミングで、簡潔な言葉で声をかけることで、子どもは理解し満足します。また、子どもの意思を受け入れることで、信頼感ができ、子どもが自分の感情を出せるようになってきます。このことが自己を尊重し、自分の言葉で自分の意思を言えることにつながっていくのではないのでしょうか。今子育てをがんばっているお母さん方に、さらに伝えていきたいと思っています。